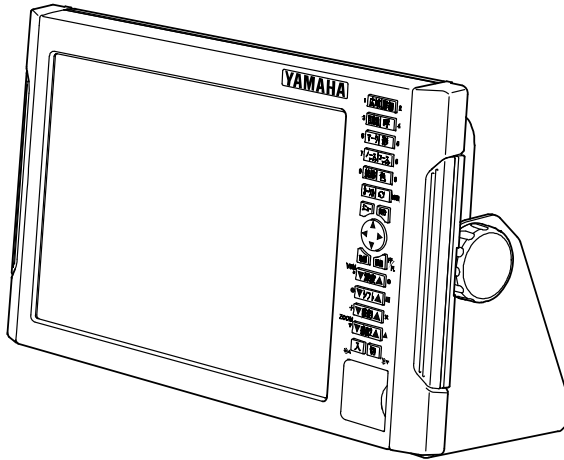


取扱説明書

YFHV121-M000



あなたの安全を守るため、操作の前にこの取扱説明書をよく読み、十分内容を理解してください。

この取扱説明書は常に機械操作に便利な所定の場所に保管し、必要なときすぐに読めるようにしてください。

YAMAHA

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

- あなたの安全を守るため、操作の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分内容を理解してください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、紛失・損傷の起きないような場所に保管し、必要なときすぐに読めるようにしておいてください。
- あなたがこの製品を転売または譲渡する場合は、この取扱説明書を新しい所有者にお渡しください。
- この取扱説明書に書かれていない使用法、あるいは間違った使用法を行った結果招いた人身事故および物的損傷に対しては、当社は一切の製造物責任法（PL法）上の責任を負いません。

【安全上のご注意】のシンボルマークの定義について……



警告

: 取扱を誤った場合、死亡、重傷又は傷害に至る可能性が想定される場合。

注意

: 取扱を誤った場合、物的損害の発生が想定される場合。



: してはいけない「**禁止**」を示しています。

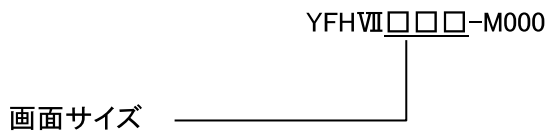


: 必ず実行していただく「**強制**」を示しています。

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはおやめください。
- ・仕様変更等により、本書の内容と一部異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容についてご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

品番構成

品番には各機種画面サイズについて下記のように表示されています。



画面サイズ

121 : 12.1 型

目次












安全上のご注意（必ずお読みください）	1
1. 本体の取扱いについて	2
2. コード類の取扱いについて	2
3. リモコンの取扱いについて	3
4. TFT 液晶パネルについて	3
5. 使用上のお願い	3
6. その他注意点	4
各部の名称	5
1. 全面パネル	5
2. 背面	6
3. リモコン	7
構成品一覧	9
本体の取付け方法	10
インダッシュで取付ける方法	11
親機との接続方法	13
電源の入れ方・切り方について	13
画面の輝度を調整するには	14
仕様一覧表	14
アフターサービスについて	15

安全上のご注意（必ずお読みください）

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために重要な注意事項を説明しています。

1. 本体の取扱いについて

⚠ 警告

-  ● 本体内部には高電圧が使用されている。
保守作業者以外は分解・改造をしないこと。
これを守らないと感電死を負う事故となります。
※修理は当社サービスまたは販売店に依頼してください。
-  ● 簡易的な取り付けはしない。
ケガなど事故の原因となります。
-  ● 本機に表示される情報は、直接航海に使用しない。
海難事故の原因となります。
※航海上の判断には、必ず正規の海図を使用してください。
-  ● 表示の水深だけを頼って操船しない。
魚群探知機に表示される水深表示はさまざまな条件により誤った数値を表示することがありますので、直接航海に使用しないでください。
-  ● 操船中は本体の操作をしない。
海難事故の原因となります。
※操作をする場合は、周囲の安全を充分確認した上で行ってください。
-  ● 引火性ガスなどの発生場所では電源を入れない。
発火の原因となります。
-  ● 指定の電源以外は使用しない。
発熱や発火の原因となります。
-  ● 分解・改造は絶対にしない。
火災や感電、ケガの原因となります。
-  ● 濡れた手で操作しない。
感電や故障の原因となります。
-  ● 故障や発煙、発火のときはモニター電源ケーブルを外す。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
必ず、お買上先または当社お客様相談窓口へ連絡してください。
-  ● 雨や水しぶきが直接かかる場所へ設置しない。また、水洗いはしない。
特に本体背面 DVI コネクタ部につきましては、防水構造となっておりますので DVI ケーブルを外した状態で使用しないこと。
故障の原因となります。



- 高温になる場所へ設置しない。
内部温度の上昇による発火やケガ、感電の原因となります。

注意



- アース（接地）は確実に取ること。
接地が悪いと他の機器から干渉を受けたり、他の機器に干渉を与えたりします。



- 直射日光を避ける。
液晶が見えづらくなったり、発熱の原因となります。



- 長期間使用しない場合は電源コードを本体から抜く、配電盤のブレーカーを切る等を行ってください。
本機は電源 OFF 時も待機電力を消費していますので、バッテリー上がりを起こす可能性があります。

2. コード類の取扱いについて

警告



- モニター電源ケーブルのプラグを抜いたまま放置しない。
プラグが濡れるとショートして、発熱や発火の原因となります。



- コード類は、操船の妨げにならないように配線する。
足や操船装置にからむと、事故の原因となります。
※コード類の上に重い物をのせたり、無理に曲げたりしないでください。



- コード類は分解・改造をしない。
発熱や発火、感電の原因となります。



- 傷んだコード類は使用しない。
火災や感電の原因となります。



- プラグはコードを引っ張って抜かない。
コードが損傷して火災や感電の原因となります。
※抜くときはプラグ本体を持って行ってください。



- 本体取付け時等、ケーブルを挟まない。
コード類が傷み、発熱や発火、感電、故障の原因となります。

3 リモコンの取扱いについて

⚠ 警告



- 液漏れした電池は使用しない。(赤外線リモコン使用時)
電池内部の液が人体に付着すると、傷害をおこす恐れがあります。
※液が付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

注意



- 使用しないときは、振動などで落下しない場所へ設置する。
ケガなど事故の原因となります。

メモ) YFHVII21-M000は、有線リモコンの接続は出来ません。

4. TFT 液晶パネルについて

- TFT 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。
これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

5. 使用上のお願い

エンジン始動時は、電源を切る!

エンジン始動時はバッテリー電圧が変動し、本機に悪影響を与える場合があります。
エンジンの始動は本体の電源を切った状態で行ってください。

電源 11V~35V!

本体の電源電圧はDC 11V~35Vの範囲でご使用ください。

有機溶剤の使用禁止!

本体の大部分はプラスチックでできていますので、シンナーやアルコール等の有機溶剤で拭かないでください。汚れのひどいときは、柔らかい布に中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭いてください。

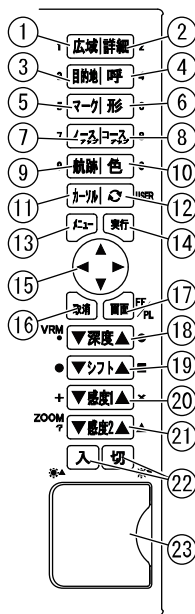
潤滑剤や防錆剤を塗布しないでください。ケースやパッキンを傷め、故障の原因となります。

6. その他注意点

- 2ステーションモニターの操作キーにて親機の操作を行うことができます。
- 親機の電源を切ると、2ステーションモニターの電源も切れます。
- 2ステーションモニターの電源を切っても、2ステーションモニターの電源は切れません。
- 親機の輝度設定を変更しても2ステーションモニターの輝度は変更されません。
- リモコン（オプション）による2ステーションモニターの電源ON/OFFの操作は出来ません。

各部の名称

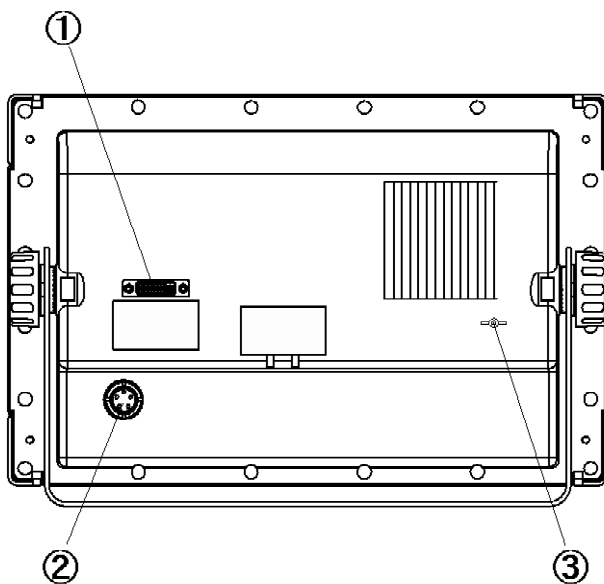
1. 前面パネル



- ① 広域 (縮小)
地図画面を広域 (縮小) 表示します。
- ② 詳細 (拡大)
地図画面を詳細 (拡大) 表示します。
- ③ 目的地記憶
目的地を記憶します。
- ④ 目的地呼出
目的地を呼出します。
- ⑤ イベントマーク
画面にイベントマークを記入します。
- ⑥ イベント形
イベントマークの形を選択します。
- ⑦ ノースアップ
画面の真上が「北」になります。
- ⑧ コースアップ
画面の真上が「進行方向」になります。
- ⑨ 航跡 ON/OFF
航跡の表示／非表示を切り替えます。
- ⑩ 航跡色
航跡表示の色を選択します。
- ⑪ カーソル ON/OFF
カーソルの表示／非表示を切り替えます。

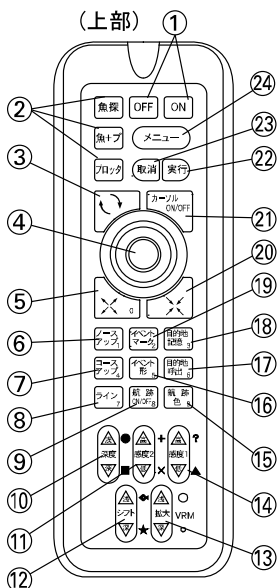
- ⑫ レンジ切替
メニューで設定したレンジを交互に切り替えます。
・ユーザーキー
・マイメニュー
・画像保存
- ⑬ メニュー
メニューを表示します。
- ⑭ 実行
選択した項目を決定するときに使用します。
- ⑮ 方向キー
・地図とカーソルを移動します。
・メニュー項目の選択にも使用します。
- ⑯ 取消
項目の削除かキャンセルに使用します。
- ⑰ 画面
魚探画面・プロッター画面を切り替え表示します。
- ⑱ 深度
深度表示範囲を設定します。
* 距離マーカークの大きさを設定する
- ⑲ シフト
深度表示範囲を移動します。
* 指定のイベントマークを入力
- ⑳ 感度 1
1 周波／2 周波併画のとき右画面の感度を設定します。
* 指定のイベントマークを入力
- ㉑ 感度 2
・2 周波併画の左画面の感度を設定します。
* 指定のイベントマークを入力
・拡大
拡大位置を海面方向、海底方向に移動させます。(手動拡大設定時)
- ㉒ 電源
・電源を入れる／切る (→14 ページ)
・輝度を調節します。(→17 ページ)
- ㉓ カードスロット
使用しません。

2. 背面



- ① DVI 映像入力
- ② モニター電源入力 (5P)
- ③ アース端子

3. リモコン (オプション)



①電源

使用しません。

②モード切替 (→16 ページ)

魚探画面・プロッター画面を切り替え表示します。

③レンジ切替

メニューで設定したレンジを交互に切り替えます。

④方向キー

- ・地図とカーソルを移動します。
- ・メニュー項目の選択にも使用します。

⑤詳細 (拡大)

地図画面を詳細 (拡大) 表示します。

⑥ノースアップ

画面の真上が「北」になります。

⑦コースアップ

画面の真上が「進行方向」になります。

⑧ライン

地図上に線を記入します。

⑨航跡 ON/OFF

航跡の表示／非表示を切り替えます。

⑩深度

深度表示範囲を設定します。

* 指定のイベントマークを入力

⑪感度 2

2 周波併画の左画面の感度を設定します。

* 指定のイベントマークを入力

⑫シフト

深度表示範囲を移動します。

* 指定のイベントマークを入力

⑬拡大

拡大位置を海面方向、海底方向に移動させます。(手動拡大設定時)

* 距離マーカーの大きさを設定する

⑭感度 1

1 周波／2 周波併画のとき右画面の感度を設定します。

* 指定のイベントマークを入力

⑮航跡色

航跡表示の色を選択します。

⑯イベント形

イベントマークの形を選択します。

⑰目的地呼出

目的地を呼出します。

⑱目的地記憶

目的地を記憶します。

⑲イベントマーク

画面上にイベントマークを記入します。

⑳広域 (縮小)

地図画面を広域 (縮小) 表示します。

㉑カーソル ON/OFF

カーソルの表示／非表示を切り替えます。

㉒実行

選択した項目を決定するときに使用します。

㉓取消

項目の削除かキャンセルに使用します。

㉔メニュー

メニューを表示します。

メモ) リモコン操作の詳細は、本体の取扱説明書を参照して下さい。

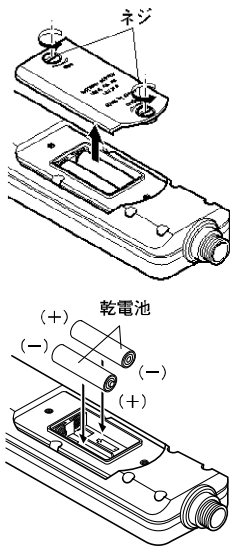
リモコンの取扱いについて (リモコンはオプションです。)

警告

- 液漏れした電池は使用しない。(赤外線リモコン使用時)
電池内部の液が人体に付着すると、傷害をおこす恐れがあります。
※液が付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 使用しないときは、振動などで落下しない場所へ設置する。
ケガなど事故の原因となります。

- ・操作する場合は、リモコン上部を本体のリモコン受光部へ向けてキーを押してください。
- ・赤外線リモコンの場合、単3形乾電池が2個必要です。

電池の入れ方



- 1 ネジ (2ヶ所) をゆるめ裏がたをはずします。
- 2 乾電池の＋と－の向きを正しく入れます。
※ネジは強く締めないでください。

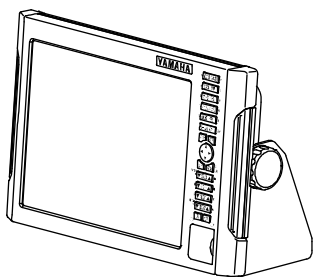
【乾電池について】

- 乾電池の使い方を誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- ・＋と－の向きを正しく入れてください。
 - ・新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・乾電池は充電できません。
 - ・長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。
 - ・液もれが起こったときは、ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

【リモコンについて】

- ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たると、リモコン操作ができない場合があります。
- ・リモコン受光部と間に障害物があると、リモコン操作ができない場合があります。
- ・落としたり、直射日光のあたる所に放置すると故障の原因となります。

本体 12.1 型



架台×1ケ
 ノブボルト×2ケ
 架台用ワッシャー×2ケ
 架台用防振ゴム×2ケ

本体 架台取付用ネジ

鉄板ビス
5×20 SUS×4本

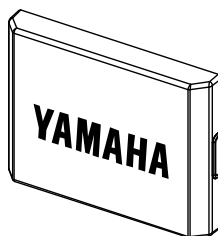


インダッシュ用
ナベタッピングネジ

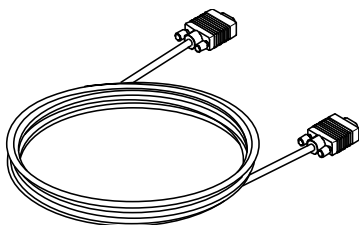
4×30 SUS×4本



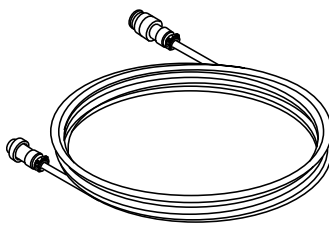
ハードカバー
(CV08)



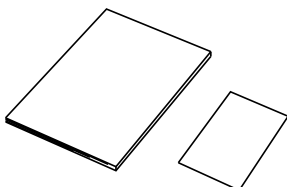
DVIケーブル 10m×1本



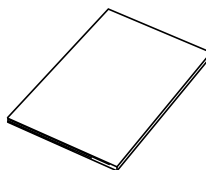
モニター電源ケーブル 10m×1本



取扱説明書（保証書）



原寸大インダッシュ用型紙



本体の取付け方法

警告



簡易的な取付けはしない。

ケガなど事故の原因となります。

※下記の取付手順に従い、必ず正規の取付けを行ってください。

注意

雨や水しぶきが直接かかる場所へ設置しない。

特に本体背面 DVI コネクタ部につきましては、防水構造となっております。
故障の原因となります。

【本体取付けの手順】

<本体の取付け>

本体の取付用架台の穴（4ヶ所）を使い、付属のネジで取付けます。

図を参照しながら本体を取付けます。

1. <位置決め>

本体に架台を付けた状態で取付け位置を決め、目印をつけます。

※本体の後方はコード類を接続できるだけの隙間を空けてください。

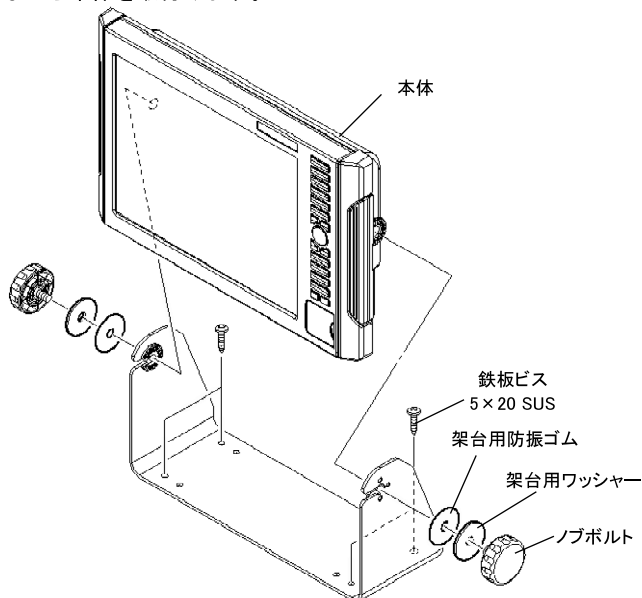
2. <架台の取付け>

架台の外側の穴（4ヶ所）を使い、付属のネジで取付けます。

※架台両端の切り欠きは、本体の表側へ向けてください。

3. <本体の取付け>

図を参照しながら本体を取付けます。



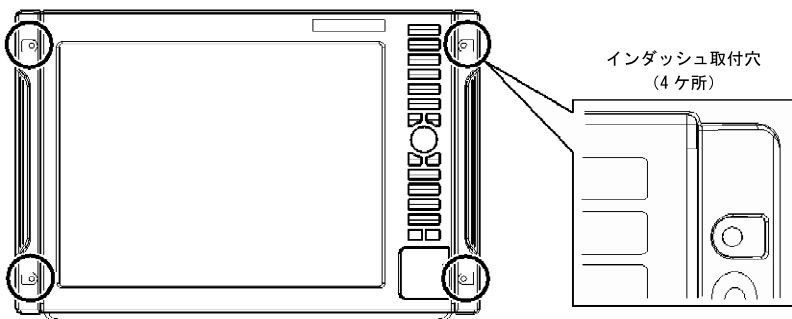
インダッシュで取付ける方法

警告

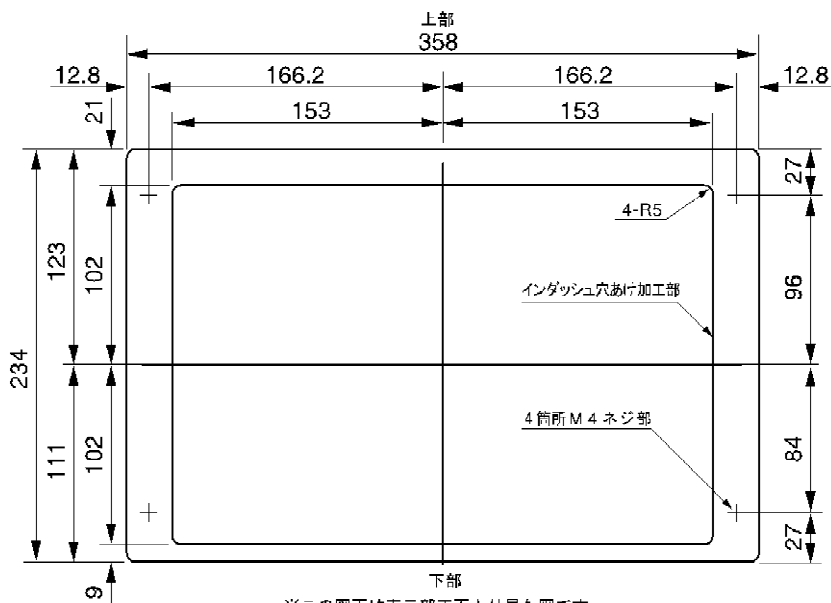


簡易的な取付けはしない。
ケガなど事故の原因となります。
※下記の取付手順に従い、必ず正規の取付けを行ってください。

本体前面の四隅にある取付穴を利用して、パネルにネジ止めできます。



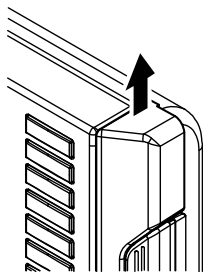
1. 付属の原寸大インダッシュ用型紙を参考に穴を開けてください。



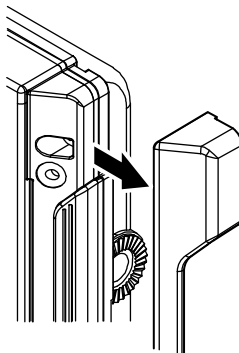
※この図面は表示部正面より見た図です。

単位：mm

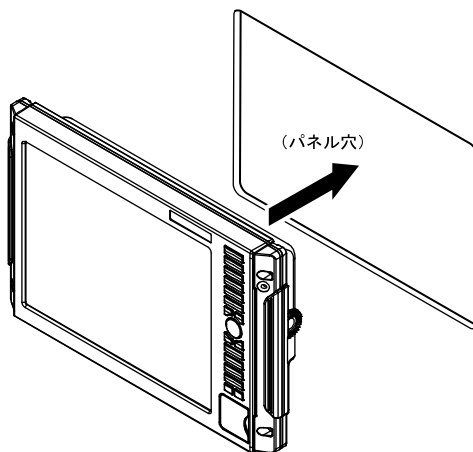
2. 本体側面のオーバーカバー（インダッシュカバー）（2ヶ所）を上押し上げます。



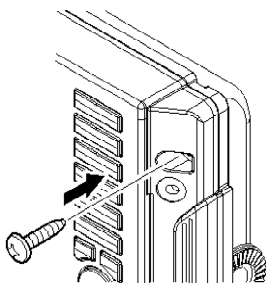
3. そのまま画面外側方向に引きます。オーバーカバーが外れます。



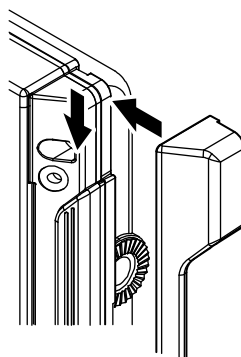
4. 本体をパネルに開けた穴にはめます。



5. 4×30 タッピングネジを挿入してパネルに固定します。（4ヶ所）

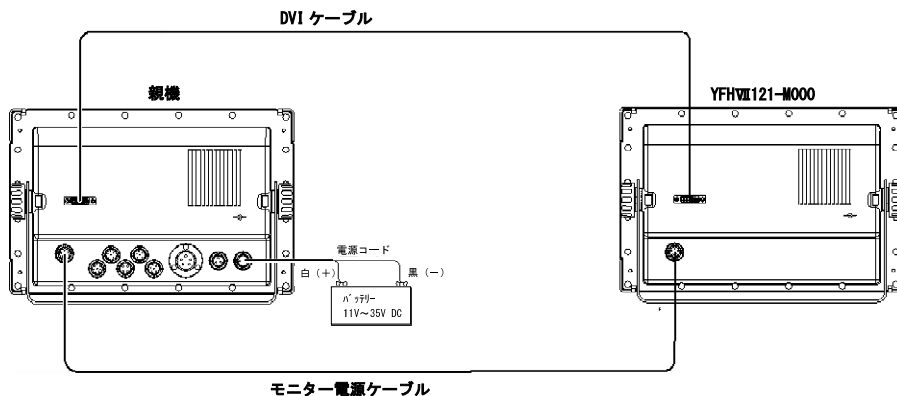


6. 再び、オーバーカバー（2ヶ所）を被せます。



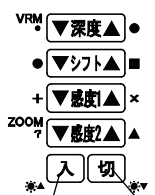
親機との接続方法

下記のように DVI ケーブル(10m) およびモニター電源ケーブルで親機と 2 ステーションモニターを接続します。



電源を入れる／切るには

電源の ON / OFF



電源 [入] キー

電源 [切] キー

1 [入] キーを押すと、起動音が鳴って電源が入ります。
その後、親機と同じ画面が表示されたら起動完了です。

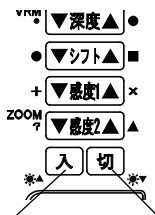
2 [切] キーを 2 秒以上押し続けると電源が切れます。

メモ 1) 親機の電源が入っていないと、モニターの電源が入りません。

メモ 2) エンジン始動時はバッテリー電圧が変動し、本体に悪影響を与える場合があります。エンジンの始動は、本体の電源を切った状態で行ってください。

画面の輝度を調節するには

輝度の調整



入キー 切キー

- 1** [入] キーを短押し：画面が明るくなります。
 [切] キーを短押し：画面が暗くなります。

メモ) リモコン (オプション) による輝度の調整は出来ません。

仕様一覧表

表 示 器	12.1 型 TFT カラー液晶
表 示 方 向	横
表 示 ド ッ ト	800 × 600
電 源 電 圧	DC11V~35V
消 費 電 力	約 13W
待 期 電 力	約 0.6W
本 体 寸 法 (mm)	242 (H) × 358 (W) × 146 (D)
本 体 質 量	約 3 kg

アフターサービスについて

製品が故障した場合は、製品に保証書を添えてお買い上げ販売店へ修理をご依頼ください。

なお、保証・使い方などご不明な点につきましては、販売店へお問い合わせください。

■無償修理について

下記の項目全てが記入された保証書が添付されている場合に限り、お買い上げ日から1年間は保証書に記載されている内容の範囲内で無償修理致します。

- 型名
- 製造番号
- お買い上げ日
- 販売店名

※詳しくは、保証書に記載されている<保証規定>をご覧ください。

■修理ご依頼に際してのお願い

1. 故障内容（症状）をできるかぎり詳しくご説明ください。（メモ書きで結構です） また、故障内容（症状）によっては、修理内容の確認を取らせていただきたい場合がありますのでご連絡先の電話番号またはFAX番号も書き添えてください。
2. 振動子や水温センサーなど親機に接続するセンサー類も添付していただくと、故障原因を特定しやすくなります。
3. 修理に関係のない付属品類（架台、ノブボルト等）は、紛失などの事故をさけるため修理品から取り外してお手元に保管してください。
4. 製品を送られる際は、お買い上げ時の外箱などに入れてしっかりと梱包した上でお送りください。

2018年 4月 第2版発行

△ 安全に関するご注意

商品を正しくお使いいただく為、ご使用前に必ず取扱いの注意事項をご確認いただき、ご不明な点は販売店にお問合せください。

販売元

株式会社ワイズギア

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地

製造元



HONDEX®
本多電子株式会社

マリン事業部

お問い合わせ

マリンカスタマーサービス

TEL: 0532-41-6332

FAX: 0532-41-2996

〒441-3193

愛知県豊橋市大岩町小山塚20